

Case : 35

酸素チューブがベッドの隙間に挟まり、酸素が十分に供給されなくなる

### 場面の説明

背上げの際、酸素チューブが可動部に挟まったが、介助者はすぐには気がつかなかった



利用シーン	 その他
主な利用場所	 寝室
介護保険の種目	—
分類コード (CCTA95)	030318 (酸素ユニット)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

### 解説

ベッドには多くの挟み込みやすい箇所があり、背上げや高さ調整などの操作をするときには、酸素チューブが挟み込まれていないか確認することが重要です。また、このようなヒヤリ・ハットを起こさないためには確認しやすい環境も重要です。ベッド周りは整理整頓しておきましょう。

### 参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：ベッドの可動部に酸素チューブが挟まることを想定していなかった
- モノ：使用上の注意を促す表示がなかった
- 環境：布団などで、酸素チューブの位置がわかりにくかった